

目標達成計画

作成日:令和元年10月29日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5, 6	身体拘束、虐待をしないケア ・拘束に関しては、十分なアセスメントを行えているが、時間が経過し、その後のアセスメントには欠けている。 ・虐待、拘束委員会の活動内容を深めていきたい。	虐待、身体拘束委員会の活動内容を整理し、主任会議とも連携を図る。	・支援のグレーゾーンの発信し、委員会で話し合い、話合った内容を主任会議などで伝え、実施する。 ・委員会活動をしているということも十分な発信になるため、委員会の記録を回覧していく。	12ヶ月
2	43	排泄の自立支援 排泄行為が困難な方には、パットが吸収した尿量に合わせてのトイレ誘導を行っている。自立に向けた支援においてはあまり行えていないと思う。	利用者様の排尿サインを把握する。	・利用者様ひとり1人の排尿サインの再確認。	3ヶ月
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 ・重度化した時に、ご家族には相談するが、利用者様本人には聞いていないのが現状。会話の中から想像することがほとんどである。 ・最期は自宅を願う方が多いと思うが、現実的に難しいケースが多い。	ご本人が望まれる終末期支援	・ご本人の思いを知る機会を意識して作り、ご家族に伝える。現実的に難しい状況であるならば、それに近い環境を個別に家族と共に考える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月